

「2014年香港中文大学サマースクール参加報告書」

医学部1回生 吉平 智博

今回のサマースクールに参加したことは、自分にとっては非常に貴重な経験になったと思っています。まず、学習成果、自分にどのような変化があったかという点ですが、僕自身がまだ一回生ということもあり、交換留学のプログラムとして海外の大学での授業に参加することは初めてでしたので、とても新鮮な気持ちでこのプログラムに参加することができました。海外の大学のキャンパス、寮で三週間以上生活するような経験は何もかもが初めてで、刺激的な毎日でした。同じプログラムに参加している他の留学生と毎日話したり共に行動したりするのも非常に楽しく、英語が分からず少し苦労することもありましたが、そんなことは気にせず交流を続けるうちに親睦を深めることができましたと思います。たびたび各自の自分の国の話や他国の話などにもなり、国際交流、世界の文化理解という意味でも非常に知識も身についたと思います。また現地の学生や同じ年代層の人々との交流も少しあり、香港の歴史、現状についても非常に深く知ることもできました。

そのなかでもいくつか印象に残っている経験は、まずは香港にイギリス統治時代の面影がよく残っていることです。街中の表記などがイギリス英語であることや、建物もGフロア、一階、二階と数えるところなど、僕はアメリカ風に慣れていたので、いろいろと新鮮な発見が多かったです。また、香港の特徴として、香港人はとても忙しいということが現地でよく印象に残りました。滞在中に、香港人の忙しさをネタにした現実問題やジョークなどをいくつも聞きましたし、エスカレーターが非常に速かったり、たくさんの人が毎日あちこちと動き回っているんだなというのを感じました。

他にもトリップツアーでマカオや深圳に小旅行に行けたり、日曜日の自由時間を利用して香港内の観光名所などを見て回ったりして、とても充実した日々になりました。平日は午前午後と中国語の授業がありましたが、中文大学の先生方もとても丁寧に授業をしてくれて、また時には雑談などで盛り上がり、自分の中国語能力もだいぶレベルアップしたのではないかと思います。このプログラム自体はとても素晴らしいプログラムだったと思います。今回このような短期留学サマースクールに参加してとても素晴らしい経験をさせてもらったので、次回からも機会を見つけて積極的に国際交流プログラムに参加していきたいと思っています。